

RKKの『街頭ラヂオ』 八代市の商店街でも展開 県内3件目 ～福岡・鹿児島でも同様の計画～

プレスリリース 2025年2月12日

Press Release

株式会社熊本放送（本社：熊本市中央区 代表取締役社長・坂口洋一郎 略称：RKK）は、県内の商店街と連携し、商店街のスピーカーでRKKラジオ放送を拡声するいわゆる「パブリックリスニング」企画名『街頭ラヂオ』の展開を八代市の本町1丁目商店街・本町2丁目商店街にも広げました。展開は25年2月7日からです。熊本市の子飼商店街・健軍商店街に続いて3件目です。

昭和30年代、街なかに置かれたテレビで大勢の人達がプロレスなどを楽しんだことがありました。これは「街頭テレビ」と呼ばれますが、そのラジオ版というイメージです。

RKKラジオは2028年度位をめどにAMからFMに転換する予定ですが、その周知とラジオに触れるきっかけを作り、新たなリスナーを獲得する為の取り組みです。

2月7日にスタートしたのは、八代市のアーケード街のうち、本町1丁目商店街と本町2丁目商店街です。

RKKラジオの拡声時間は

1丁目は水曜を除く平日の正午頃から午後5時頃

2丁目は平日の午前10時頃から午後5時頃です。



「街頭ラヂオ」のポスターを持つ
ミミーキャスターの古戩沙季さん(左)と川原舞優さん(右)

同様の試みは、RKKラジオを参考に九州のほかの県にも広がっていて、福岡（RKB）や鹿児島（MBC）のラジオ局でも計画があります。

戦前には、国内各地の公園・広場・役場などに「ラジオ塔」と呼ばれる石灯籠型のラジオ拡声器があり、市民はその前でラジオを楽しんだり、ラジオ体操をしていて、一般的にはこれを『街頭ラヂオ』と呼んでいました。

NHK発行のラジオ年鑑によると、「ラジオ塔」は県内にも花畑公園をはじめ17基があったとされますが、現存していません。

RKKラジオは、今後も県内での展開を広げてゆきたいと考えています。